

2017年1月11日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

神奈川県エリアにおけるオリンピック・パラリンピック教育を 放送を用いた遠隔教育にて実施 ～スポーツ庁委託事業 オリンピック・パラリンピック・ ムーブメント全国展開事業～

2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（2015年11月27日閣議決定）を受けて、スポーツ庁は、「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」としてオリンピック・パラリンピック教育を今年度12府県で実施することとなりました。神奈川県エリアにおける東京オリンピック・パラリンピック教育講座は、地域の教育リーダーとしての教育・研究機関として、講座監修を、慶應義塾大学 SFC 研究所（神奈川県藤沢市、所長 飯盛義徳、以下 SFC 研究所）が株式会社ジュピターテレコム（東京都千代田区、代表取締役社長 牧俊夫、以下 J:COM）と連携し行います。

SFC 研究所では、オリンピック・パラリンピック教育を目的とした遠隔教育に適した教育番組の制作監修を行い、神奈川県エリアにおけるケーブルテレビ J:COM での放送を通じた学校や地域団体における授業を実施致します。

1. 放送を用いた遠隔教育について

教育番組の放送を活用した授業を実施することにより、神奈川県エリアにおける東京オリンピック・パラリンピック・ムーブメント醸成を図るとともに、参加した各学校や地域団体において、東京オリンピック競技大会の開催地としての自覚を促す「おもてなし」をはじめとする主体的な教育アクションが継続実施されていくことを目指しています。また、放送を活用した授業のために制作した教育番組は、教育レガシーとして、次年度以降も神奈川県内の教育機関等で希望があればいつでも利用できる環境を整える予定です。

また、放送を活用した授業の様子は、神奈川県エリアでのケーブルテレビ J:COM での放送後に、J:COM が運営する全国 1,350 万世帯*で無料視聴できるオリジナルチャンネル「J:COM テレビ」において、2017年3月に放送を予定しており、この放送を通じて、全国規模での東京オリンピック・パラリンピック・ムーブメント醸成も目指します。

*2016年9月末時点

2. オリンピック・パラリンピック教育番組の放送を活用した授業 実施概要

1) 小中学生対象

番組タイトル：2020 私たちができる「おもてなし」とは？

番組尺：30分

番組概要：【2020年に向けて外国人視点で「おもてなし」を留学生と一緒に考えてみよう！】

2020年に向けて外国人が期待する「おもてなし」について、慶應義塾大学 SFC 研究所所員（外国籍）が、留学生を中心に英語でインタビュー。外国人視点の「おもてなし」ポイントを基に、外国人に喜ばれる「おもてなし」について、小中学生が主体的に考えるための契機を創出する番組。すぐに使える簡単な英語フレーズを覚えるコーナーもあり、実践的な「おもてなし」英語教育促進も図ります。

放送日時：2017年1/13（金）10時50分、15（日）10時、18（水）11時5分

2/10（金）24（金）10時50分、15（水）22（水）11時5分、19（日）10時

※放送日時は変更になる場合があります。

チャンネル：「J:COM チャンネル」地上デジタル11ch

視聴可能エリア：神奈川県内（一部東京都）の J:COM サービスエリア

視聴可能世帯数：約166万世帯 ※2016年9月末現在

ご視聴方法：J:COM 対応住宅にお住まいの方は、「J:COM チャンネル」にて無料でご覧いただけます。

2) 高校生対象

番組タイトル：2020 東京の未来を論理的に考えよう！

番組尺：50 分

番組概要：【「おもてなし」について、高校生たちが論理的に学び、考え、語り合った 1 日に密着！】

2020 年に向けて、どんな「おもてなし」が必要か？をテーマに、慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員で、大学院政策・メディア研究科の梅嶋真樹特任講師が、全国の高校で「論理コミュニケーション」という学校設定科目を教える齋田有里先生（中学・高校教諭専修免許【英語】を保有）と共に神奈川県内高校生を対象として実施した特別授業の様子を 50 分にダイジェスト。

たった 1 日の授業でも驚くほどの成果をあげた高校生たちの実績を通して、論理コミュニケーション学習への興味喚起を行うとともに、「おもてなし」について高校生たちが主体的に 1 人称で考えるための契機を創出する番組。二項対立を軸とするディベートとは異なる、「論理コミュニケーション」により異なる意見も取り入れながら、よりよき意見にブラッシュアップしていく高校生たちのディスカッションの様子は必見です。

放送日時：2017 年 1/12（木）19（木）9 時 50 分、14（土）14 時、15（日）17 時
2/16（木）23（木）9 時 50 分、26（日）10 時

※放送日時は変更になる場合があります。

チャンネル：「J:COM チャンネル」地上デジタル 11ch

視聴可能エリア：神奈川県内（一部東京都）の J:COM サービスエリア

視聴可能世帯数：約 166 万世帯 ※2016 年 9 月末現在

ご視聴方法：J:COM 対応住宅にお住まいの方は、「J:COM チャンネル」にて無料でご覧いただけます。

慶應義塾大学 SFC 研究所について <https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/>

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科、大学院健康マネジメント研究科、総合政策学部、環境情報学部、看護医療学部の附属研究所である SFC 研究所は、21 世紀の先端研究をリードする研究拠点として、SFC における教育・研究活動と、産官学および国内外のあらゆる関連活動との双方向の協調関係を育みながら諸科学協調の立場から先端的研究を行い、社会の発展に寄与することを目的としています。

ジュピターテレコムについて <http://www.jcom.co.jp/>

株式会社ジュピターテレコム（本社：東京都千代田区）は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの28社75局を通じて約524万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電力等のサービスを提供しています。ホームパス世帯（敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯）は約2,107万世帯です。番組供給事業においては、17の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IP マルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。 ※上記世帯数は2016年9月末現在の数字です。

<研究に関するお問い合わせ先>

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任講師 梅嶋 真樹
masaki27@sfc.keio.ac.jp

<J:COM放送に関するお問い合わせ先>

(株)ジュピターテレコム 広報部 担当：石井・大屋 03-6765-8204

<配信元>

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室学術研究支援担当
TEL 0466-49-3436
E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp